

美味より神戸 夢家

『ふだんづかいの一杯飲み屋』

仕事帰りにちよつと一杯。元町高架下商店街6丁目とメルカロード宇治川商店街を南に下

した。コンセプトは自分が行きたくなるような店。

った交差に昨年末にオープンした「夢家」。15人ほどが入れば満席という、小じんまりとしたお店。入り口には、杉玉が吊るされ、お酒好きがつつい引き寄せられてしまいそうな店構え。オーナーの西尾光さんは、「喫

カップ酒は450円から1000円までで、全国のユニークな銘柄50種類がそろった。デザインを見ているだけでも飽きない。一番人気は、愛媛の清酒「ずーっと好きでいて下さい」(500円)。とくに女性客の注文が多いとか。

茶店に行く感覚で、毎日でも通ってもらえるよう低価格にしま

お料理のメニューは、すべてお酒の肴に合うように考えられている。料理の料金も、一品100円から500円。夢屋

オリジナルピザ(400円)は、西尾さんの奥さんの考案。うす揚げにチーズ、マスタートド、トマトをのせてこんがり焼き上げた。これまででありそうでなかった味で、なかなかの美味。冷奴(300円)は、一丁を4分割して、梅肉、ザーサイ、しょうが、明太子を添えて。一人鶏鍋もあつさり味で、ボリュームもたっぷり。「ちよつとした



工夫で、いろいろな味を楽しめる夢家のメニューを楽しんでください」と店長の世良晶さん。仕事帰りに、ふらりと。仕事の疲れを癒してくれる、ふだんづかいの一杯飲み屋をお探しておられる方に、ぜひお越しいただきたい。



☎078-371-1881
神戸市中央区元町通6-8-13
【営】17時～23時
【休】日曜・祝日
【P】無



2007年3月の貴方 by 真希の占い ※節分より前の誕生日の方は、前年の星となります。

一白水星

大7, 昭2.11.20, 29, 38, 47, 56, 平2, 11生

波乱の多いときです。新規・誇張は控えた方が無難です。甘い話には注意して、内部の結束を固めてください。

二黒土星

大6, 昭元, 10, 19, 28, 37, 46, 55, 平元, 10生

やる気満々な月。外出も多くなり出費も増えそうです。突っ走り過ぎて周囲への気配を忘れると、人間関係にひびが入ることになります。冷静に!

三碧木星

大5, 14, 昭9, 18, 27, 36, 45, 54, 63, 平9生

気が緩みがちになるとき。言葉の行き違いに注意。しかし、人脈は広がりのあるときなので、人との出会いは大切に。約束は守ること。

四緑木星

大4, 13, 昭8, 17, 26, 35, 44, 53, 62, 平8, 17生

迷いが生じやすく、予期しないことが起こりそうです。今は現状維持が無難です。イライラしたら友人に話を聞いてもらってスッキリしましょう。

五黄土星

大3, 12, 昭7, 16, 25, 34, 43, 52, 61, 平7, 16生

過去の努力が評価され、注目を浴びます。勘も冴え、順調なときですが、知られたい事まで表面化しそうです。思いやりを忘れないようにすることで開花します。

六白金星

大2, 11, 昭6, 15, 24, 33, 42, 51, 60, 平6, 15生

今月は充電期間です。焦らず、余計なことには手を出さず、時期を待ちましょう。何事も基本に忠実に、落ちついて行動してください。

七赤金星

大元, 10, 昭和5, 14, 23, 32, 41, 50, 59, 平5, 14生

出費の多い月になりそうです。慎重な行動により、運気はアップします。将来に向け計画を立て地道に努力することにより、信用が増します。

八白土星

大9, 昭4, 13, 22, 31, 40, 49, 58, 平4, 13生

気力体力とも充実します。新しいことにもトライするチャンスです。でも、思いつきでは始めることはNG。積極的に行動して、結果を出してください。

九紫火星

大8, 昭3, 12, 21, 30, 39, 48, 57, 平3, 12生

月は発展運です。順調なときではありますが、油断は禁物です。頭をやわらかくして、発想の転換をおこないましょう。

営業時間 10:30~19:30
第1, 2, 3, 4水曜定休 ☎078-392-0144
鑑定料 3,000円〜/30分
<http://www.gem-building.jp/>



真希苑寿 (まきえんじゅ) 先生

的確で納得のいく鑑定でリピーターが多い。どんな悩みや相談でもじっくりと話を聴き、運を切り開く。毒やしの雰囲気があるので自信を失っている人、元気の無い人におすすめ。占術はタロット、四柱推命、数霊術、六星占術など

●鑑定スケジュール: 火・土・13時〜19時
080-9218-8003 ※なるべくあらかじめご予約を



盛衰のさかんなクラブ界でも不動の地位を築いている「とみさと」。

この2月に、新たにチーママに就任したのが華美さん。凛とした表情に、漆黒の着物姿が、妖艶な雰囲気醸し出す。「これからも、お客さまに安心してお越しただけるよう、とみさとの伝統を継承してまいります」。あと数年で、神戸で店を構えてから30年を迎える。スタッフ一同の真心のこもったおもてなしが、常連客に愛されている。



常連客に愛される伝統のお店に
新たにチーママが登場

とみさと

華美さん

information

とみさと

☎078-393-1915

神戸市中央区中山手通1-8-14
北野坂ビルB1・B2

- 営業時間 20:00～24:00
- 定休日 日曜・祝日
- 座席 80席
- 料金 18,000円
(80分)～





2月に店内は改装。写真は改装前のものです。

「アン」「ドウ」「トウ」。神戸のクラブ界では、ひとつの合言葉になっている。「ドウ」は、2月に店内を改装し、重厚で落ち着いた雰囲気に変えられ、親しみやすく愛らしい女性スタッフたちも人気を博する。「オープン当時のスタッフも多く、みんな仲がいいです」とレナさん。「和やかな雰囲気がお客さまにも心地よいのでは」と優さん。再オープンから今年で3年。小さな蕾がいよいよ開花し、大輪の花を咲かせてくれそうな予感がする。

親しみやすく、愛らしい女性スタッフたち
大輪の花を咲かせてくれそうな予感

DEUX(ドウ)

優さん(右)
レナさん(左)

information

DEUX(ドウ)

☎078-335-1270

神戸市中央区中山手通1-8-14
北野坂FビルB1・B2

■営業時間 20:00～翌1:00

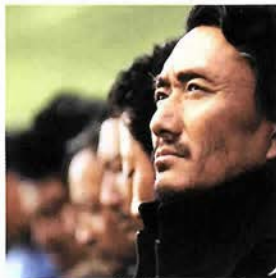
■定休日 日曜・祝日

■座席 25席

■料金 15,000円

(80分)～





© 2005 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

市民映画劇場4月例会 「ココシリ」

4/20(金) 11:00/13:30

16:00/19:00

4/21(土) 11:00/13:00

16:30/18:30

一般前売1,300円

(当日一般1,500円 身障者・シニア1,100円)

■ 神戸映画サークル協議会

☎ 078-371-8550

海拔4700メートルの山肌に、神聖なほど美しく、想像を絶するほどの過酷な大自然が広がっているココシリは、世界で3番めに広いといわれる無人地帯。そこに生息するチベットカモシカの最高級毛皮を狙うチベット族の密猟者と、それを守るチベット族の民間のマウンテン・パトロール隊。彼らの壮絶な17日間を追った、実話を基にした感動の映画。

2004年中国映画。監督・脚本ルー・チューアン。神戸初公開。



神戸でお洒落にアートを遊ぶ 「MUSEUM PARTY」

3/4(日) 12:00~20:00

神戸ファッション美術館
(六甲ライナー「アイランドセンター」駅すぐ)

一般500円 中学生以下無料

■ 神戸ファッション美術館

☎ 078-858-0050

HOSHI NO SUMIKA maki

「神戸でお洒落にアートを遊ぶ」をテーマに、神戸で活躍中のアーティストが集結するイベント。

ステージでは音楽やワークショップを予定。アートブースでは個性派アーティストが参加し、作品の発表などをおこなう。また、「カフェクリュ」や「甜蜜蜜」など街の人気カフェの出店も。

アート、音楽、カルチャーを融合させ一日中楽しめる空間となるばかりか、将来性を秘めたアーティストとのコミュニケーションの場としても興味深い。



今井雅之 脚本・演出・出演 舞台「産隆大學応援団」

神戸公演

5/3(木) 19:00開演

5/4(金) 14:00開演

新神戸オリエンタル劇場

前売5500円 当日5,800円(全席指定)

■ 新神戸オリエンタル劇場

☎ 078-291-1100

笑い飛ばしたいのに泣けてくる、それは純な男たちの物語。

2005年2月、フジテレビで放送された人気ドラマを舞台化。『応援とは一方通行の愛だ。"お前は一人じゃない"ってことを教えてやるだけだ』、そう語る、新たに第三十九代團長となった淵村の下に、さまざまな事件が沸き起こる。さて、團の行く末は、いかに…。それぞれ個性が強い応援団員の青春を描いた、笑いあり、涙ありの2007年度注目の超熱血ハートフルコメディ。出演は今井雅之、東貴博ほか。



オウルンサロ音楽祭in兵庫

3/15(木) 13:00/18:30

兵庫県立芸術文化センター小ホール
(阪急「西宮北口」すぐ)

13:00~17:00 4,000円

18:30~21:00 5,000円

13:00~21:00 8,000円

全席指定

■ 芸術文化センターチケットオフィス

☎ 0798-68-0255

フィンランド北部のオウルンサロという小さな町で、毎年素朴な音楽祭が開催されている。その音楽監督で、左手のピアニストとして知られる館野泉と仲間たちが、兵庫で心温まるステージを繰り広げる。今回は息子のヤンネ館野がプロデュース。メインアーティストはアコーディオンの御喜美江。フィンランドからも4人のアーティストが参加し、フィンランドの作曲家シベリウスなどの曲を演奏する。ステージは2部構成で、どちらかだけの鑑賞も可。

ジャズライブ&レストラン SONE

スウィング系ジャズを中心としたステージが
毎晩繰り広げられる、ジャズのまち神戸の老舗店。
3月の注目のライブは…

3/5 (月) ユン・ファンソン+トリオ

11 (日) 鍋島直飛クワルテット+
大越理加 (vo) 鍋島直飛 (vib)
高橋俊男 (p) 中山良一 (b)
田中ヒロシ (dr)

18 (日) 北莊桂子 (vo) + 石川武司 (p) トリオ
/ 井手厚 (b) 岩高淳 (dr)

20 (火) キャンディー浅田 (vo) 西本貴志 (p)
中島教秀 (b) 石川潤二 (dr)

25 (日) ザ・フィールドジャズオーケストラ
中南由美 (vo)

27 (木) 北浪良佳 (vo) 祖田修 (p) 井上幸祐
(b) 石川潤二 (dr)

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 ☎078-221-2055

<http://kobe-sona.com>

★ステージ18:50～23:00 計4回

★ミュージックチャージ900円

クラシックライブハウス ピアジュリアン

神戸で唯一、クラシックライブ専門のお店。
3月の注目のライブは…

3/8 (木) 山本朱 (フルート) 梅本貴子 (ピアノ)
ナイトライブ

18 (日) YUZURA弦楽四重奏楽団
ナイトライブ
澤田知栄子・木須すみれ (ヴァイオリン)
中村公俊 (ヴィオラ) 金子鈴太郎
(チェロ)

24 (土) 北口大輔チェロライブ

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

■クラシックライブハウス PIA Julien

三宮駅北側近藤ビル9階 (1階マクドナルド)

☎078-391-8081 月曜定休

<http://pia-julien.com>

★ステージ19:30/21:00 (計2回)

ライブハウス メイデンヴォエッジ

阪急六甲のライブハウス。ジャズセッションデー、
アカペラオンリーなどもあり。

3月の注目のライブは…

3/4 (日) 「アカペラ大集合!」

アカペラオンリーのオープンマイク
イベント

9 (金) GENTLEWINDS ワンマンライブ

17 (土) Jazzバンドやろうぜ! 関西版
大セッションデー

21 (祝)

甲陽REAL GROOVE 3Days

23 (金)

29 (木) 涙に笑いを巻き起こします!
笑いが起こす元気の奇跡～
駅前寄席! 明伝座～Vol.1

30 (金) Mr.smith ワンマンライブ/パーカッ
シブな超絶アコースティックギターとソ
ウルフルボイスの奇跡の融合!

■Livehouse Maiden voyage

阪急六甲駅北側すぐ

☎078-805-0899

<http://www.koyo.net/maiden-voyage/>

★演奏のジャンル問わず、出演者募集中

ジャズ喫茶 カフェ萬屋宗兵衛

元町商店街にジャズ喫茶

3月の注目のライブは…

3/14 (水) Forever DUKE-Thanks18years
(諸行無常)

17 (土) ぼこべんJAZZクインテット

19 (月) ABESTA STREET JAZZ
Orchestra

22 (木) Paul Fleisher (ts.fl) カルテット
生田幸子 (p) 佐藤英宣 (ds)

23 (金) 『Mu-』+1 (Original Jazz)

24 (土) Gitano Family Live !!
(ジブシールンバ)

「CMソング『ボーラーレ』で有名な
GipsyKingsの兄弟バンドが初来日!!」

26 (月) 岩本裕司カルテット

29 (木) Bring Station (JAZZ)

30 (金) 松永明子 ～ Soulful Night ～

■Cafe 萬屋宗兵衛

元町商店街1丁目

ウエディングサロン「イノウエ」地下

☎078-332-1963

<http://www.soubei.net/>

ジャズクラブ Holly's

アットホームなジャズライブハウスで、
毎晩繰り広げられるすてきなステージ。
3月の注目のライブは…

3/9 (金) (V) YOKO (P) 小泉裕子

(B) 新井洋平 (D) 富樫豊

(FL) 森本優子

歌唱力に定評のYOKOさんのライブ
です。このメンバーで3月17日
NHK トアステライブに出演します。

20 (火) (V) 加留部洋美 あべやすこ

(P) 世古昌義 (B) 田中たけし

(D) 笹倉歩

神戸のJAZZシーンでお馴染みの
加留部さん、ご家庭の事情で
ラストライブです、この機会に是非…

記載された以外にも、毎晩ライブあり。
ホームページでスケジュールをチェックしてください。

■KOBE JAZZ CLUB Holly's

三宮駅北徒歩7分、新神戸駅南徒歩7分

加納町 ☎078-251-5147

<http://kobe-hollys.com>

淡路ジェノバライン 明石〜岩屋航路就航

淡路島の岩屋と、明石を結ぶ船の「淡路ジェノバライン岩屋航路」が、今年1月1日に就航した。以前まで明淡高速船(株)が運営していた明石／岩屋航路は、昨年12月で運行休止の予定だったが、明石・淡路両市等や、市民の要望を受け、(株)淡路ジェノバラインが航路再開に乗り出した。淡路ジェノバライン航路は、明石／富島ラインに続いての就航。

航路再開にともなう、大人普通運賃を、それまでの500円から400円に値下げ。明石発は始発6時20分、最終21時40分、岩屋発は始発6時00分、最終21時20分、それぞれ1時間に2〜3本の運行(悪天候時は運休)。運賃は大人400円、小人200円、自転車150円、団体割引(15名以上)、お得な回数券もある。明石乗り場はJR山陽明石駅から徒歩10分、岩屋は岩屋バスターミナル隣り。この春、格安の船旅を楽しむながらの淡路小旅行も良いかもしれない。

■淡路ジェノバライン
岩屋ポートビル事務所
淡路市岩屋925-27
☎078-321-2002
<http://www.jenova-line.co.jp>



明石〜岩屋間を結ぶ「レントスター2」

水道筋商店街で まるごと北はりま展

阪急王子公園駅東の水道筋商店街で三木、小野、加東、加西、西脇の5市と多可町の北播磨地域の物産販売などを通じ交流を促進する「まるごと北はりま展」が開催される。

3月4日(日)・11日(日)には、商店街で三木金物や播州織シャツなどの特産品販売や北播磨の伝統芸能の実演、杉原和紙を使用した人形づくり体験などの「日曜物産市」。また、3月4日・11日は、商店街の協力店舗で播州織製品や農産加工品などを販

売。3月中は北播磨と神戸の交流拠点として、商店街内に交流センターを設置する。

美しい田園広がる北播磨の食・技・人とふれあえるまたとない機会。お見逃しなく。

■まるごと北はりま展実行委員会事務局
☎079-542-6158



懐かしい風景広がる北播磨の魅力

ソロブチミスト神戸 チャリティバザー 29日に

国際ソロブチミスト神戸(会長／フロインドリーブ上原・ヘラ)が主催する第33回国際ソロブチミスト神戸チャリティバザーが、3月29日(木)11時から、神戸ポートピアホテル地下1階で行なわれる。入場料500円。今回は「子どもの命はみんなの宝」をテーマに、収益金は地域の子

育て応援・虐待防止センターに寄付される予定。当日、会場内で本の読み聞かせなども開催される。

日時 3月29日(木)
午前11時〜午後3時
会場 神戸ポートピアホテル地下1階
☎078-3302-1111

「香りのジェル 犬用リラックスジェル」発売

愛犬に塗るだけでストレスを取り除き、皮膚のトラブルにも効果を発揮する「香りのジェル・犬用リラックスジェル」が発売された。開発・販売は、香りと人間の脳の関わりを研究し、ストレスや健康などに作用するエッセンスなどを販売している(株)フットテック。開発には、獣医東洋医学公会理事の竹内裕司先生がたずさわった。



ワンちゃんのストレスに作用する犬用リラックスジェル



アモーレ像除幕式の様子

「犬用リラックスシエル」は、プロスポーツ選手や医療現場でも使用されている、フットテクノの香りの製品を、犬用に作ったもので、神経に働きかけ、自然治癒力を高める。フットテクノの直営店「ONE's NOUVEAU」で発売中。

■ONE's NOUVEAU
神戸市中央区元町通5-2-8
11:00~19:00 水曜休
☎078・351・1206
<http://www.jenova-line.co.jp>

通称「でこぼこ広場」に新しい愛称が

三宮の玄関、阪急三宮駅北側の阪急三宮北広場（通称「でこぼこ広場」）の愛称が決定した。

912点の応募の中から決定したのは「さんきたアモーレ広場」。昨年亡くなった新谷琇紀氏の彫

刻「アモーレ」が設置されている広場であり、また「アモーレ」はイタリア語で「愛」を意味し、神戸への愛、神戸らしいイカサマがあることから選ばれた。また「さんきた」という言葉を入れることで、場所をイメージすることもできる。

3月7日に伝達式とお披露式を開催する予定。みなさんもこれからは「さんきたアモーレ広場」でよろしくお願いいたします。

サロンド・あいり
愛されて6周年

三宮のお店「サロンド・あいり」が、オープン6周年を迎えた。家庭料理とお酒、ライブハウスの店として、文化人のサロンのように親しまれている。店主・福原初子さんによる家庭料理は、季節のお惣菜など野菜がたっぷりのヘルシーメニュー。古い蓄音機、和家具、ピアノ、民芸品など、和洋が不思議に溶け合った店内ではイラストや写真、書などの展覧会も開催される。

また、シャンソンやクラシック、ギター、三味線など幅広いジャンルのライブも人気。とにかくたくさんの魅力

がつまったお店だ。

2月3日には、オープン6周年記念パーティが行なわれ、多くのあいりファンが集った。

3月17日以降のライブ
17日(土) 尾原やよい(ジャズピアノ) 正木麻衣子(ヴォーカル)

18日(日) 山口達廣(ギター弾き語り)

21日(水) ロスアセステオーサカ(タンゴ)

25日(日) 葉月ルミ

30日(金) 安田陽代(クラシカル童謡)

31日(土) 如月怜生(シャンソン 吉田幸生(ピアノ))

ライブは有料(家庭料理と1ドリンク付)で、できるだけご予約を。

■サロンド・あいり

神戸市中央区雲井通4-1-23
☎078・241・1898
<http://sierraleone.jp/>



あいりオーナーの福原初子さん(写真中央)

CD紹介
シエラ・レオネ

地元神戸をはじめ、大阪・東京などで活躍するバンド「シエラ・レオネ」が全国デビューアルバム「NOTHING BUT A MAN」をリリース。

コンセプトは「人間」として、同じ人間の為にもっとできることはありますか?。意味深な言葉である。「シエラ・レオネ」とはアフリカにある国の名前だという。チャチな自分だけの思いにとらわれない彼らの大きな世界がひとつに。とりあえず自己紹介的な一枚。彼らの優れた音楽性にも注目したい。全国の有名CDショップで発売中。

<http://sierraleone.jp/>



全8曲
¥1,890(税込)



クラウンプラザ神戸 リブランド・レセプション



クラウンプラザ神戸のリブランド・レセプションが2月15日に開かれた。総支配人のイアン・リードさんから、関係者があいさつし、多くの人々が集った。



小曽根実・真 父子の受賞祝賀会



神戸市文化賞を受賞した小曽根実さん、神戸市文化奨励賞を受賞した小曽根真さんの受賞記念祝賀会が、1月21日クラウンプラザ神戸で開かれた。ジャズライブでは、超ビッグな父子二人の共演に、観客は酔いしれた。



こうべ芸文平成19年のつどい



文化人が集う、こうべ芸文平成19年のつどいが、1月29日ホテルオークラ神戸で開催。今年新しく入会したメンバーの紹介も行なわれた。

佳生流新春の集い



華道・佳生流の新春の集いが、1月21日神戸ベイシェラトンホテル&タワーズではなやかに開かれた。



明石婦人 サロンの集い

「07明石婦人サロン新春
&47周年のつどい」が、1
月27日、明石市のホテル
キャスルプラザで開かれ、
ゲストに、女優の栗原小巻
さん、貝原俊民前兵庫県
知事を迎え、多くの婦人
が参加した。

おいしい子羊の会



A ssociazione di amatori di AGNELLO (子羊を食べる会)の集いが、2月
10日新神戸サンホテルで開かれた。おいしい子羊に、参加者は大満足。

今年も鯉川筋を盛り上げます



鯉川山手づくり会の新年会が、1月24日ラッセホールで開催。メンバーが集い、
今年の活動や夢を語り合った。

第32回こうべ芸文美術展



「美術と音楽と舞踊の出会い芸術文化展」をテーマに第32回こうべ芸文美術展
が開かれ、原田の森ギャラリーで、1月31日～2月4日の間、美術展、いけばな展、
コンサートやバレエなどの催しが行なわれた。写真は、2月3日、シャンソンコン
サートに出演した堀郁子さん、渡辺二笙さんら。



サロン・ド・あいり 6周年

6周年を迎えたサロン・ド・
あいりで、2月3日、記念パ
ーティが開かれ、記念ライ
ブが大変盛り上った。

大和松詩 舞の会



2月4日六甲荘で、大和松詩さん主催の「舞の会」が行なわれた。

造型のマジック

中 右 瑛

ジグゾーパズルの嵌め絵

「小猫あつまって大猫となる」 一鵬斎芳藤画



小猫集まって大猫となる(図①)

ているのが、愉快だ。

はて？小猫はいったい何匹いるのだろうか。
余白にはなにやら讃が書き添えられている。

猫の子の 子猫を

十九あつめつつ 大猫とする

画師のわざくれ

応需 金水道人

どうやら小猫は十九匹いるという。

讃を書き添えた金水道人とはいかなる人物か。幕末に活躍した人情本の作者・松亭金水のことであろうか。

弘化四年—嘉永五年（一八四七—五二）の頃の作。版元不詳。

国芳の弟子・一鵬斎芳藤が描いたユーモアたっぷりの「猫」の珍作をご覧ください。

左の図①は一匹の大きな猫が画かれているが、よくよく見ると、小さな猫がいっぱい寄りかたまつて大猫が形成されているのが判る。まるでジグゾーパズルの趣向で「寄せ絵」とも「嵌め絵」とも呼ばれているもの。

大猫の顔も胴体も、小猫がいっぱい嵌められている。猫の目は鈴（小猫の首にかけた鈴が大猫の目のポイントとなる仕掛け）、大猫の髭が扇の骨となつ

師匠の国芳が無類の猫好きであったことはよく知られているが、画師の芳藤も師匠と同じように猫好きであったのだろう。猫の肢体、ポーズが実に、細やかに描かれている。

芳藤のもう一つの猫をお見せしよう（図②）。それは化け猫だ。東海道五十三次「岡崎」に伝わる「化け猫伝説」を具現化したもの。四代鶴屋南北の歌舞伎狂言『独道中五十三次・岡崎の場』で化け猫は登場した。化け猫の顔には多くの猫が嵌められて

いる。目は鈴、舌は鈴の赤い紐。背景は古屋敷。図②ともに猫構成の傑作だ。

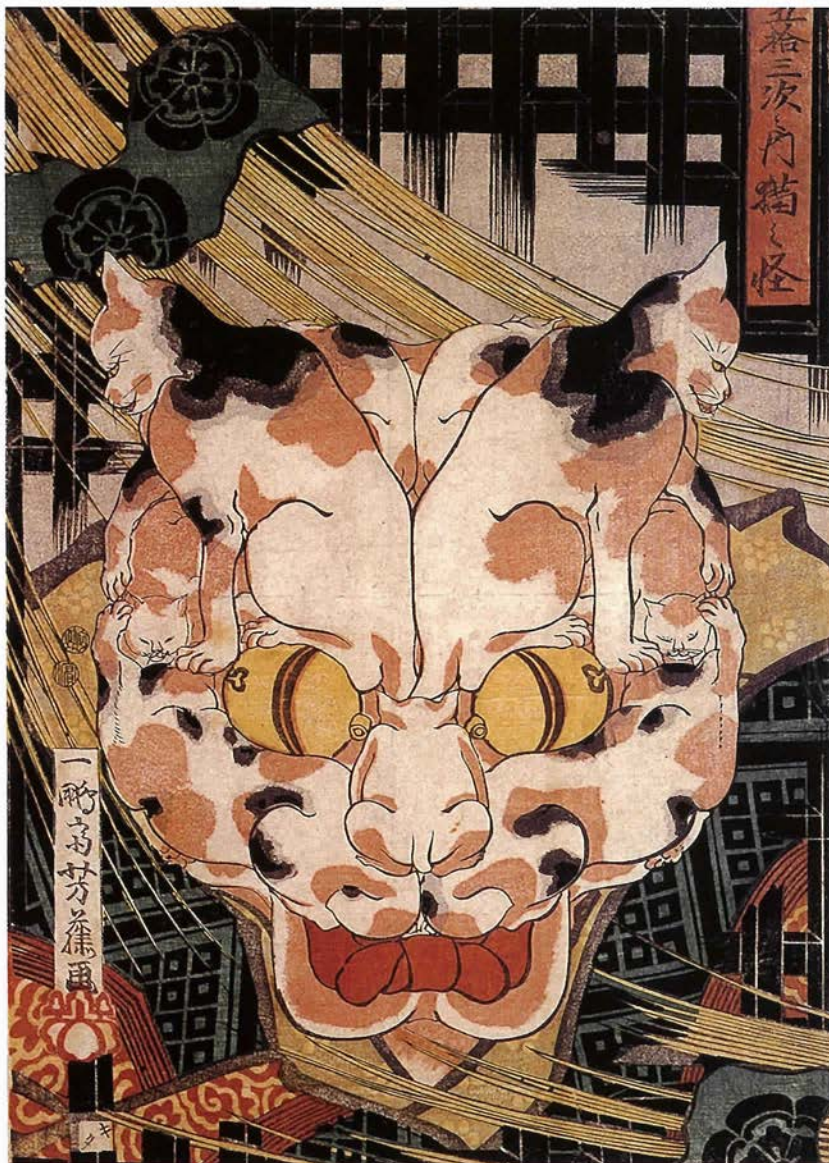
芳藤は幕末・明治に活躍し、子どもを対象にしたおもちゃの類の遊び絵を得意とし、人は芳藤のことを「おもちゃ芳藤」と呼んだ。

芳藤は師匠・国芳に負けず劣らずの珍奇なアイデアの持ち主である。次から次へと奇想、珍奇な絵を矢継ぎ早に発表した。それは次回で紹介しよう。



■中右瑛（なかうゑい）
抽象画家。浮世絵・夢二画系。1934年生まれ、神戸市在住。

行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山貫半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数。



五拾三次之内 猫の怪(図②)

海船港

中突堤リニユーアル・オープン
から二年を振り返って

文・写真 上川庄二郎



お披露目で中突堤に初入港した（飛鳥II）（菊水山山頂からの撮影）

【様変わりするか、中突堤界隈】

神戸空港の開港（2006.2.16）より一足早くリニユーアルオープン（2006.1.11）した中突堤。

その中突堤に、昨年二年間、『飛鳥II』に始まり『飛鳥II』以降外国船も含め38隻のクルーズ客船が入港し、延べ57日停泊した。これ以外にも帆船の日本丸や海王丸も相次いで来航し、45日停泊（部は中突堤対岸の高島岸壁）。合わせると、中突堤（高島岸壁を含む）に年間一〇二日間、神戸港初入港の外国船をはじめ多くのクルーズ客船や華麗な帆船を間近に見る機会が増えたことになる。

新聞各紙も、神戸港に出入港したクルーズ客船や帆船を何回となく取り上げてくれた。お陰で、この界隈は着実に人出が増え賑やかになってきたようだ。客船誘致元年で取り組んだ神戸市の努力が着実に定着し始めたものと考えている。

【ユニークな外国クルーズ船も】

外国船は、神戸港初入港のNAVITICAを始め、船のマニション船と呼ばれるThe WORLDなど六隻、中でも四千トンと小型ながら優美な船体のSPIRIT of OCEANUSは、二度に亘って神戸港に寄港し、アメリカ人乗船客にすばらしい瀬戸内の自然や名勝地、瀬戸三橋などを紹介してくれた。

この船

が瀬戸内の港に寄港して、それぞれの港で大歓迎を



中突堤にナイトステイする海王丸

受けたことは、岡山の宇野港への寄港を大きく報じる地元紙の記事からみても痛いほど感じ取れる。宇野港と云えば、かつて宇高連絡船の本州側の玄関口として賑わった港だけに余計に思い入るのだろう。

このように、瀬戸内の港が活性化してゆけば、これからの神戸港振興策の狙いとして、「神戸港を瀬戸内クルーズの母港に！そして世界の玄関口に！」という視点からの取組みにも大いに弾みがつくと期待できよう。願わくば「SPIRIT of OCEANUS」のような外国クルーズ船客の寄港数がもっと増えてほしいものである。

【中突堤界隈の更なる再整備に期待】

しかし、このように中突堤が脚光を浴びつつある反面、和田岬の関門（西航路）の航路幅と水深の関係で大型船が着岸できないために「QUEEN ELIZABETH」など大型のクルーズ客船が中突堤に着岸できない。これに加え、中突堤から三宮、元町、神戸方面への交通手段が今ひとつ不便なこともあって、従来どおりポーターミナル（第四突堤）に外国船11隻を含め48隻が着岸し、中突堤への着岸数を上回った。停泊日数こそ72日と中突堤に及ばなかったが、これは、帆船が長期滞在したことの影響であって、本来なら中突堤に着岸し

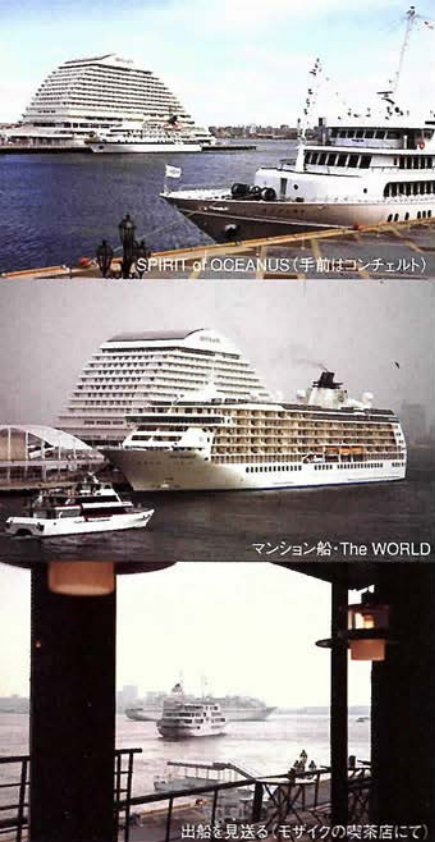
て欲しい外国船が中突堤の倍近くもポーターミナルに着岸したことは残念と言わざるを得ない。邦船の中にも、交通手段の不便さを理由に中突堤を敬遠する船社もあり、このあたりは、中突堤の抱える今後の課題というところだろう。

着岸可能な船がすべて中突堤にシフトすれば、総数80隻、停泊延べ日数は、一九九日となつて、この界隈の賑わいも一段と高まっていたはず。賑わいが増せば自ずと人も集まってくる、といった具合にいい方向に展開することは自明の理。

また、「メリケンパークと第二突堤の間にある水上警察署などが、突堤間や港と都心を分断しているため、『観光客からは、港を身近に感じられない、などの声があがっていた』。その水上警察署が震災で倒壊危険建物と指摘され移転することになった」神戸新聞2007・1・1。この移転を契機に、更なる中突堤界隈の再整備が進むことを期待したい。

大阪・梅田界隈は、二〇一〇年頃には、JR大阪駅や阪急百貨店の大改装、梅田貨物駅跡地開発などで様変わりしそうである。神戸が、これに対抗してゆくには、三宮、元町といった都心とみなとを融合・体

化した神戸ならではの新しいタイプのテーマパークづくりに取り組んでゆくと、ぐらゐの気構えが欲しいところである。



「SPIRIT of OCEANUS」(手前はコンチェルト)

マンション船・The WORLD

出船を見送る(モザイクの喫茶店にて)



■ かみかわ しゅうじろう
1935年生まれ。
神戸大学。神戸市に入り、
消防局長を最後に定年退職。
その後、関西学院大学、
大阪産業大学非常勤講師
を経て、現在、フリーライ
ター。

幸せの黄色い音色が兵庫県立総合リハビリテーションセンターに

黄色いピアノ

贈呈式と贈呈記念コンサート

思まわしき阪神淡路大震災では、人も、街も、傷ついた。音楽でその傷を癒せないだろうか：詩人の喜多内十三造さんが提唱し、『幸福の黄色いハンカチ』のハンカチのように皆を明るく幸せにという願いを込め、黄色いピアノを贈る活動ははじまったという。



奨学金の給付や奉仕活動など、さまざまな社会活動をおこなっている「フェニックス神戸ゾントクラブ」のメンバーが、黄色いピアノを「心のかけ橋」として病院や施設に贈り、音楽を通



じて心の交流をはかる運動に呼応。全国で六代目となる黄色いピアノを神戸市西区の兵庫県立総合リハビリテーションセンターに寄贈し、2月16日にセンター内の中央病院玄関ロビーにて寄贈式と記念コンサートがおこなわれた。

陽光を集めたようにまぶしい黄色のピアノは、拍手の中フェニックス神戸ゾントクラブの芳賀順子会長よりセンターに贈呈され、式典のあと早速その美しい音色を披露。ピアニストの小椋由美子さんが奏でるショパンのメロディーや、フェニックス神戸ゾントクラブのメンバーでもあるソプラノの田中潤子さんの歌声によるオペラや童謡に、

会場には音楽の花が咲き乱れた。そして「黄色いピアノはみんなの光」と喜多内十三造氏作詞の「黄色いピアノの歌」が、患者さんたちを大いに励ました。ピアノはこれかも幸せの黄色い音色で、多くの人たちの心を癒やし、励ましてくれるだろう。





an essay

戸

再発見

与謝野晶子と阪神地区①

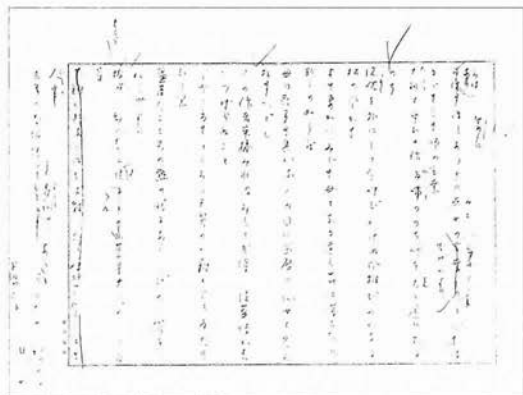
加藤 隆久

(神戸芸術文化会議長
生田神社宮司)

与謝野晶子の生家跡に建つ「海こひし 潮の遠鳴り かぞへつ 少女となりし 父母の家」の歌碑
(堺市堺区甲斐町西1丁:阪堺電車「宿院」下車すぐ)

与謝野晶子は神戸・芦屋など阪神地区に関わりの深い歌人であります。とりわけ芦屋を詠んだ歌を数多く残しました。なぜ芦屋の歌が多いのでしょうか。それは、与謝野晶子・鉄幹夫妻の弟子であった丹羽俊彦・安喜子夫妻が芦屋市の精道村西新田、のちの松浜町58番地に住み、何度か与謝野夫妻が訪問しているからです。私は神戸の某古書店から丹羽安喜子さんが所蔵していたとみられる竹の文箱に入った関係書類を手に入れることが出来ました。大部分が歌稿で、安喜子さんの歌を与謝野夫妻がみずから添削したのですが、丹羽安喜子さんの『芦屋より』という歌集もあり、その出版記念会の関係のものも入っていて、その中に与謝野晶子直筆の貴重な原稿もあったのです(次ページの写真参照)。晶子の愛弟子だった安喜子さんが与謝野鉄幹十七回忌、晶子没後十周年にあたって「晶子祭」を開催することになり、芦屋と与謝野夫妻の思い出を記すことを求められて執筆した原稿もありました。

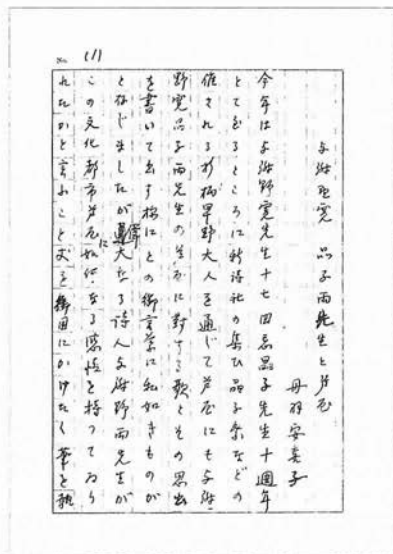
丹羽安喜子さんの記述によりますと、晶子は昭和6年8月、昭和8年7月、昭和11年5月、昭和15年4月の四度芦屋を訪ね、6年と8年は夫妻で訪れています。昭和6年、夫妻が高野山の夏期大学に講演にいった帰途の8月8日、大阪の毎日新聞社で講演をして、翌9日の午前11時頃、大阪から自動車3台に東京から同行した歌の友達を乗せ、丹羽邸を訪問しているのです。その時は神戸の歌会を持っていた関係から芦屋で歌を詠む間もなく慌ただしく、丹羽安喜子さんも同乗して神戸へ出ています。その際、芦屋を見た与謝野夫妻はじめ歌友達は、沙がきれい松が美しいと感嘆して、鶴



与謝野晶子直筆の原稿

〈いづれも筆者所蔵〉

丹羽安喜子さん直筆の原稿



塚橋から国道に向かう車の徐行を命じ、松の姿をふり返りふり返り見ていたということです。汽車が芦屋川の下を走ることも驚いていたと記しています。いわゆる天井川の構造が珍しかったのでしょう。この時、鉄幹が「芦屋にて」と題して「車より白服の人

出で来ればいと濃くなりぬ沙の松かけ」の一首を詠みました。当日神戸には「明星」時代の歌人で兵庫内務長の藤岡という人が夫妻を招いたのです。午後6時から六甲山上の滝川邸、おそらく滝川弁三さんの別荘だと思いますが、ここで歌会を行っています。そのとき安喜子さんが「芦屋にいらして歌会をしていただく時間がなかったのがたいへん残念です」と言ったところ、晶子は「あの美しい芦屋を歌にもせず帰ることは残念ですが、そのうち必ず伺います」と述べて帰京したと記しています。この時、晶子は53歳でした。

昭和8年7月には、岡山に旅行中の与謝野夫妻から安喜子さんに「7月3日神戸着」と電報が入り、神戸に出迎えて甲子園ホテルに泊まります。甲子園ホテルはアメリカの建築家フランク・ロイド・ライトゆかりの名建築で、今現在もあります（現・武庫川学院甲子園会館／西宮市）。翌4日の午前10時には西宮市立高等女学校で講演して、丹羽安喜子さんも同行し、その帰りに芦屋を訪れるのですが、なぜ西宮市立高等女学校で講演したのでしょうか。大正15年に着任した校長の山鳥吉五郎と晶子の交友関係によるものと思われます。山鳥さんは植物学者で、俳人でもあり、『六甲山の植物』という著書があります。昭和11年5月13日、丹羽安喜子さんの歌集『芦屋より』の出版記念会が大阪俱樂部で開催されたときにも、山鳥校長は晶子とともに出席して祝辞を述べています。したがって、市立西宮高女の校歌は与謝野晶子作詞、信時潔の作曲です。

晶子はその晩、芦屋を訪れ、翌日には京都から

鞍馬寺の管長や四国の歌人たち、西宮高女の校長、甲南学園の先生、堺の鳳さんが集まって、大勢の来会者であつたということです。昼食後、一同は車で芦屋見物に出かけ、鶴塚、猿丸家の墓、芦屋の天神などを観光した後、浜を散歩して歌を作っています。当日の夜は12時頃まで与謝野夫妻は筆を執っていました。安喜子さんは夜中の2時ごろ火の用心を見回ったときには静かに休んでいたと記しています。しかし歌友達は、与謝野夫妻が来られたことと、美しい芦屋の印象が強かったことで興奮してなかなか寝られず、歌の筆を執っている者がたくさんいたということです。翌日午前11時に歌の批評がおこなわれた時には、前日一度帰宅した人たちも集まり、たいへんな賑わいでした。午後は打出焼の坂口砂山の焼き物の素焼きに、来会者の松永氏と鞍馬寺の信楽管長が絵を描き、これに与謝野夫妻が歌を記して、この日の来会者に贈るという企画がなされて、約30枚ほどお皿を焼いたといわれています。坂口砂山は俳人で、明治42年に武庫郡の精道村打出、現在の芦屋市打出の春日町で窯を開きました。この陶磁器を打出焼といいます。このあたりは遠く平安時代に大宮人などが焼き物を焼いたという伝説がありますが、この付近から良い土が出たことが窯を作る理由だったと思うのです。砂山は伊賀、信楽、京都などの陶器も使い、阪神間の文化人も出入りして弟子も多く、戦前から戦後にかけて一時隆盛だったのですが、その後付近の宅地造成などで良い土が得られなくなり、二代目の坂口淳の時に窯を閉じました。三代目の孝という人は現在京都に窯を設けています。

その日から10日後に坂口砂山が焼き物の陶器の箱



芦屋川沿いの芦屋公園にある鶴塚。
(芦屋市浜芦屋町:阪神電車「芦屋」下車南へ徒歩約8分)

を丹羽さんのお宅まで届けたので、ただちに発送しました。その後、友人たちから芦屋の打出焼を今なお大切にしているということを安喜子さんが聞いて懐かしく思っていると述べていますので、晶子夫妻が書いた記念品が現在もどこかに残っているかもしれません。鉄幹は、その後再び芦屋を訪れることなく逝去しました。つまり鉄幹は芦屋へ来た1年9ヶ月後に亡くなったのです。(つづく)



■加藤隆久(かとう たかひさ)
1934年生まれ。

生田神社宮司。神戸芸術文化会館館長。神戸女子大学名誉教授。文学博士。震災や倒壊した生田神社を「附属神社」として再建。神道史や地域史の研究。伝統芸能やミュージカルのプロデュースと幅広く活躍。神戸市文化賞、兵庫県文化賞受賞。